

顧客アンケートなどニーズ調査の方法や活用法を学べます

# マーケティング調査法講習会による 野々市市の商店街活性化プロジェクト



## ●プロジェクト代表者

神宮 英夫 (情報フロンティア学部 心理情報学科 教授)

## ●プロジェクトメンバー

田中 吉史 (情報フロンティア学部 心理情報学科 教授)

武市 祥司 (情報フロンティア学部 経営情報学科 教授)

## 少ない費用でニーズ調査が可能

地域の商店街を活性化させるためには、顧客のニーズを把握し、そのニーズに応える戦略を立てて実行に移す必要があります。ニーズの把握には顧客アンケート調査の実施が、また戦略立案には経営コンサルタントなどへの相談などが広く行われていますが、調査会社やコンサルティング会社などへの依頼には高額な費用が必要で、地域の商店街や店舗が、そのための予算を確保するのは現実的には難しいのが実情です。

ならば、店主が自ら調査に足を運び、集めた結果を分析して戦略を立てることができれば、費用も少なくて済み、実情に見合った対処を策定することも可能なのではないか。そうした発想から、本プロジェクトでは、野々市市内の商店街の皆様を対象に、①調査用紙の設計 ②調査の実施方法 ③結果の分析 ④分析結果から戦略を立案するまでの一連の過程をレクチャーする講座を開催します。



## 講師役の学生が調査にも参加

本学の心理情報学科と経営情報学科の2・3年生が講師役を務め、マーケティング調査の方法、表計算ソフト「エクセル」を使用した調査結果の分析手法、戦略立案法などを参加の皆様にお伝えします。学生とともに実際に質問用紙を作成して調査活動も行っていたり、戦略立案も学生と一緒に考えます。

さらに、本プロジェクトによって得られたノウハウを調査・分析・戦略立案のためのマニュアルとしてまとめる予定で、プロジェクト終了後も、参加の皆様が継続して調査活動を実施できるようにします。また、希望する企業様に対しても同様の取り組みを行うとともに、作成したマニュアルを広く活用できる手立てを講じます。

こうしたコラボレーションを通して、地域の商店街の皆様と本学学生との交流や課題解決のための新たなコミュニティの形成が図られることも期待しています。ぜひ、本プロジェクトが開催する講座への参加をご検討ください。

## ●講座実施の流れ

